



指もんがみんなちがうのはなぜ

指もんがみんなちがう理由はわかっていない

指もんは、手や足の指にあり、うずまき形、ながれ形、ゆみ形の3種類に大別されています。なぜ指もんが、人それぞれによってちがうかという理由は、今のところ、わかっていないのです。また、指もんは、すべり止めのためにあるのではないかと、もいわれられていますが、これも、本当のところは、まだ、わかっていないのです。わかっているのは、今までに、同じ指もんの人が、一人も見つかっていないということだけなのです。

こんなことが考えられている

指もんの形は、親から子へと遺伝することが多く、親と同じ形の指もんを、多くもった子どもが生まれたりするといわれています。しかし、遺伝するといっても、子どもはお父さんとお母さんから、それぞれその特徴を遺伝しているわけなので、お父さんやお母さんと、まったく同じ指もんの形や、指もんのならび方をしていないわけではありません。そして、そのお父さんやお母さんも、それぞれ、お父さんやお母さんから、指もんを遺伝しているわけですから、似ていても、少しずつちがう指もんの形や、指もんのならび方ができていくため、まったく同じ指もんはできないのでしょう。（監修・保志 宏）



うずまき形



ながれ形



ゆみ形

